

人口と世帯

51.9.1現在

(先月比)

男 5,769人 (+8)

女 6,094人 (+8)

計11,863人 (+14)

世帯数2,750 (+3)

みくに報

編集 国見町役場
発行

(企画課)

昭和51年9月15日

No. 39



明治学級のみなさん

敬老の日

長い間

私たちのために働いてこられた

おじいさん、おばあさん

ありがとうございます

これからも

健康に気をつけて

もっともつと長生きして下さい

明治学級

明治学級（熊田一治委員長）は昭和四十三年十二月発足した。元小学校長の鈴木美一さんが運営一切を担当している。開設当時の学級生百五十人が、現在は四百人にふくれ、学習には百五十人から二百人が出席する。会場は福祉センター（写真）を使用し、学習の中には研修旅行なども計画されている。とかく人との交流の場が少なくなりがちなお年寄りにとって、明治学級は大きな楽しみの一つとなっている。

'76

9月



西大枝 佐藤アキさん 92歳



塚野目 佐藤クキさん 94歳



藤田 阿部チカさん 91歳

ご長寿おめでとつぽうじやうします

- ……………九月十五日は「敬老の日」お年……………
- ……………寄りの長年の労をねぎらい、長寿……………
- ……………をお祝する日です。
- ……………昭和二十七年にこの日が定めら……………
- ……………れ、昭和四十一年から国民の祝日……………
- ……………となりました。
- ……………町では婦人会と協力して、初め……………
- ……………全地区が一緒になって敬老会を……………
- ……………催します。

写真は町内の九十歳以上の方々です。(51・9・10現在)

一人ぐらしの老人 町では三十二人

全国で六十五歳以上のお年寄り
は八百七十五万人で総人口の七
九%ということですが、昭和八十
年になると、五人に一人は六十歳
以上の人で占められ、全くの老人
国になるといわれております。

ところでわが町には六十五歳以
上のお年寄りは千四百五十三人お
り、人口の一・四%を占めてい
ます。これは全国の約二倍の割合
です。

うち八十歳以上が二百六人、十
年前が百二十六人でしたから、い

毎年九月十五日の「敬老の日」
は、老人を敬いその健康を祝福し
余生の安泰を祈る日として、全国
各地でそれぞれ趣向をこらして老
人の方々を招待し、一日を楽しく
有意義に過ごすような催しが
なされています。

わが国見町でも、町当局と町婦
人会の共催で毎年盛大にこの催し
が行われている。殊に婦人会の方
々には、各地区ともお忙しい中を
しも夜間この日のために歌に踊り
に練習を重ねてご老人達を喜ばせ
ようと努力している姿に
深い敬意を表する。とと
もに、この努力が単に敬
老会の行事のためのもの
にとどまらず、老人を喜
ばせるための努力である
ことが、それぞれの家庭
の子供達に正しく理解さ
れるならば、百万べんの
敬老精神を説くよりも、
はるかに偉大な感化を及
ぼすのではないかと思わ
れる。

最近全国的に高齢者人
口の増加が目だち、老人
対策は国、県を問わず町
村においても重要な政策
の一つとしてクローズア
ップされている。老人医
療の無料化とか老人ホ

敬老の日に寄せて

国見町教育長 岩谷唯近

ムとか、種々老人を対象とする施
策が拡充され、老齢年金制度も確
立されて老人福祉政策が着々整備
されつつあることは誠によろこば
しいことである。

しかしながら、老人は施設に入
り、医療費は無料で年金をもらい
物質的に不安のない生活ができればそれで幸福なのだろうか？疑問に思うことがある。

元来日本人は家族制度を中核と
して発展してきた民族であるから
子供や孫と一緒に家族の一員とし
て老人の座を守る、平和
な家庭に余生を送ることが
一番幸福な老人生活で
はなからうかと思われる。
それには色々な条件が
整わなければならないこと
とはもちろんである。

第一に子供は親の老後の
面倒をみるという家族主
義の風土をいかにして復
活するかということである。
それには国も県も町
村も、老人福祉といえ
ば施設を作り年金をくれる
といった物質的福祉政策
から、精神的福祉政策
への一大転換を国民運動と
して発展させねばならぬ
と思われる。

しかし老人はただ国



大木戸 阿部長治さん 90歳



石母田 佐藤エナさん 90歳



藤田 徳江ホノさん 90歳



西大枝 井砂周蔵さん 90歳



徳江 八巻ハツイさん 90歳



藤田 佐藤善三郎さん 90歳

町一番の長寿者は 佐藤クキさん

町一番の長寿者は、塚野目字前畑の佐藤クキさんです。クキさんは、明治十五年三月二十二日生まれて今年九十四歳になりました。足が不自由ですが、あとは特に悪いところもなく、食べ物も好き嫌いなく何でも食べられるそうです。家族の息子さん夫婦（倉治さん、七いさん）、お孫さん夫婦（忠良さん、イトさん）、そしてひ孫の良子さん（高校一年）、文子さん（中学一年）に囲まれて、編み物したりテレビを見たりして幸せに暮らしています。

かに長寿者が増えたかがわかりません。しかし、その反面、一人ぐらしのお年寄りも増えており、現在町内で三十二人の方が一人で暮らしています。この方たちには、民生委員が時々様子を見たり、ホームヘルパーも訪問してお話をしています。

老後の幸せとは何か、安心して暮らせる老後とは――。長い間社会のために、私たちのために尽くしてこられたお年寄りが、孤独感に陥らず豊かな老後を暮らせるようにするのが真の福祉社会であり、現代社会に課せられた大きな課題であるといえます。

八十歳以上の方

藤田地区 (51・9・10現在 敬称略)

- 九十歳以上
 - 徳江ホノ 阿部チカ 佐藤善三郎 佐藤エナ
 - 八十五歳以上
 - 赤井畑満 樋口フジ 古岡クニ 寺島トミ 秋元彌平 古川スイ 鈴木スイ 最上哲次郎 松浦吉次 五十嵐タカ 斎藤ウツ（石母田原） 斎藤ウツ（石母田原） 松浦マツ 佐々木カナ 佐藤トヨ 八島富次 高橋松吉 千葉ツル 阿部はき
- 八十歳以上
 - 佐藤吉郎 吉田民蔵 吉田ユキ 阿部タマノ 佐藤キエ 石川りう 太田平吉 小柴勝治 佐久間うめよ 菅野キヨ 黒田ヤス 兼 直治 渡辺留三郎 佐藤志ま 佐藤ユン 渡辺スイ 梁瀬セイ 徳江サヨ 佐藤喜三郎 遠藤福平 大野コト 吉田キヨノ 須田ユン 斎藤セン 高橋喜蔵 斎藤ツネ 佐藤キクノ 佐藤勝太郎 佐藤ヨチ 阿部ヒデア 佐藤喜右門 後藤リシ 斎藤マキ 佐藤角治 古山クニ 千葉さよ 吉田栄作 中村イシ 高橋さとし 吉田清七 吉田イセ 高橋忠吉 松浦ナツ 兼 勇 兼 ナチ (次ページへ)

り県なり町村の福祉施策に頼る消極的受身の姿勢だけでなく、積極的に自らを律して行く努力をおしんではならない。まず第一に老人の特権を振り回してはならないということである。自らの健康は自ら管理する。医者よ薬よと頼りすぎるのではなくて、自分の体は自分が一番よく知っているのであるから、常に健康に意をもちいて自己の健康を管理して行くことが必要である。

次に自分でできることは自分でやり、なるべく人に頼らない。楽しみは自ら求める。歳に応じて一定の仕事を持ち、責任をもって果たす。新聞や雑誌を丹念に見て時代とともに歩む。といったよう

に、なるべく自立的な生活を通じ、身体的精神的老化にブレーキをかけつつ若さを維持して行く心がけが、愛される老人、尊敬される老人となる道ではなからうか。

しかし「年には勝てぬ」という言葉のとおり人間はいつかは老いからのがれることのできない時がやってくる。その時には施設入り家族なりの厄介にならなければならぬが、そのはね返りは丈夫な時の生きざまに比例してくるのではなからうか。

お互いに精神的身体的健康管理に意を用いて、いつまでも若々しく、明るく幸せな老後を送りたいものである。

八十歳以上の方々

つづき

鴨田モト
小坂地区

〇八十五歳以上

清水友吉 渡辺チヨ 佐藤忠一
鴨田惣太郎

〇八十歳以上

早田 富 佐藤トモ 熊取ヤイ
安藤末吉 朽木たまの 野村モツ
佐藤ミヨシ 仲野ユキ 渡辺ツキ
菅井ハナ 高橋スミ 高原たつ

熊坂源藏 鴨田サキ 熊坂ツネ
熊坂 栄 星ちとせ 佐藤とめよ

菅野キヨノ
森江野地区

〇九十歳以上

八巻ハツイ 佐藤タキ
〇八十五歳以上
廣居栄之助 佐藤義賢 斎藤藤助
斎藤セン 佐藤サタ 吉田伊勢次郎
佐野トモ 大波ツル 蓬田セン
〇八十歳以上

穴ノナカ 遠藤庄治 佐久間佐七
大津シゲ 武田きみ江 松浦ミサ
大沼左右太 斎藤カン 吉田ミサ
佐藤金次郎 斎藤セン 八巻きみ
佐藤福次郎 佐藤幸太 佐野庄八
後藤ミツセ 八巻龜太郎 佐野タ
ケヨ 徳江辰治郎 高橋重三郎
佐野タミ 菊地孫七 野田由太郎
菊地サタ 小島フヨ 佐久間カネ
富田新一 佐久間たまを 武田コフ
佐藤ハツノ 小野善六 高梨トヨ

大木戸地区

〇九十歳以上

阿部長治
〇八十五歳以上
岡田忠次郎 山口松吉 斎藤ハル
阿部勇之進 大沼慶一 松浦トク
渋谷ヒデ 阿部ノブ 松浦金助
浅野タヨ 村上やう 安斎とみ
吉田サン 渡辺初太郎
〇八十歳以上
後藤基四郎 佐藤繁三 佐藤マツ

松田久一 斎藤朝治 高橋孝輔
斎藤今朝治 大沼ノシ 加藤万播
遠藤丹治 佐野久吉 安田平吉
斎藤久太郎 佐藤由太郎 八島善作
長谷川ハツノ 村上チン 阿部ハル
谷津イシ 松浦ユエ 松浦喜一郎
松浦クニ 松浦惣兵衛 松浦ヤス
松浦ミヨ 松浦留治 斎藤マツハ
村上いち 斎藤シナ 後藤ヤツ
松浦賢一郎 松浦テツ 関 藤平
長谷川キヌ

大枝地区

〇九十歳以上

井砂周藏 佐藤アキ
〇八十五歳以上
佐藤岩吉 岩城サト 鈴木朝治
〇八十歳以上
松浦ミツ 佐藤レン 佐藤リウ
玉手豊元 菊地ふよ 瀬戸クラ
佐藤カン 岩城竹次 岩城ツル
鈴木倉吉 鈴木キセ 鈴木徳代
後藤トメ 小林サト 佐藤源一郎
佐藤フヂ 大田マス

故春日佑幸さんに

勲五等瑞宝章



さる六月逝去された安養寺(高城)住職、春日佑幸さん(高城字北二)は、このほど従五位に叙

せられ、勲五等瑞宝章が授けられました。春日さんは、明治三十年この世に生を受け、七十八歳の生涯を終えるまでその半生を教育一筋に注いでこられました。大正十二年四月、県立磐城中学校(現高校)を皮切りに二十三年間教師として活躍、その後ふたに帯って、公職選挙法が施行されて以来初めての選挙で大木戸村長に当選、地域の発展と教育の振興に取り組みました。

そして昭和二十一年、国見町教育長に就任、二期八カ年にわたって各種問題の解決に努力されました。公立藤田総合病院内に養護学級を設けて不幸な子どもたちの救済に尽くし、大木戸・大枝両中学校を県北中学校に統一して、一町一校の理想を実現しました。また、県北中の西校舎の増築、藤田小学校の体育館、そして他町村に先がけて町内全小中学校のプール完備など、残された功績は大きく、この叙勲となったものです。

国見史跡めぐり

題字は佐藤町長

31

徳江観音寺の縁起



毘沙門天 (観音堂)

「徳江観音寺」として町民に親しまれている観音寺は、縁起書によると「米夢山後鎮院観音寺」として天長三年八月、空海によって創建され、七堂伽藍を配していたという。それは北方より来る悪魔を鎮めるためであった。二百年後の「前九年の役」頃(一〇三〇)源義家が阿部貞任を討つために陸奥に下向し、観音寺に詣つたため、夢の中に翁が現れ、回廊をたまたつた。これに軍法をねつたところ、貞任らをつつことができた。それで義家は山号を「回廊山」と改め寺領として三百貫文を賜った。これより百五十余年後、源頼朝が奥州藤原氏を討つため下向した折、観音寺に戦勝祈願をした。藤原勢が造つた二重堀があるために攻めあぐんでいたところ、観音の使いが現われ、鳥取越をして攻めるならば必ず軍功があるという。島山一族、三浦平六らの一族を案内した。これにより二重堀を破り藤原勢を攻めおとすことができた。よって頼朝は山号を「回廊山」から「米連山」と改め、寺領として三百貫文を賜った。このようにして観音菩薩の大徳大助の功徳を讃え、古い縁起書は慶長五年(一六〇〇)秋の関ヶ原の戦いに関係する兵火により古證文とともに失われたが、同七年、時の住職が再び縁起書を書きしめた。

古代東国における観音信仰は戦いの仏として信仰を集めていたといわれており、それとの関係が大変に興味深いものがある。また徳江廃寺との関係も今後の研究課題であろう。(一) 佐藤町長



9月 長月(ながつき)
 15日・敬老の日・老人福祉週間
 19日・知事選挙投票日
 20日・彼岸の入り・動物愛護週間・航空記念日
 23日・秋分の日
 24日・結核予防週間

10月 神無月(かんなづき)
 1日・法の日・共同募金
 4日・里親デー
 8日・寒露
 10日・体育の日・目の愛護デー
 14日・鉄道記念日

もみじ狩り 一日の最低気温が6度台に下がると紅葉が始まるといわれます。が、北の方必ずしも美しい色が見られるというわけではありません。紅葉の仕組みは葉緑素が分解して緑色でなくなり、糖類から花青素が形成されて紅色となるわけですが、日照時間が多く続いた後に急激な冷え込みがあると色あざやかになります。雨が降り続いた時は黄色色になったりして色はさえません。

申し上げるまでもなく婦人会の目的は会員の教養を高めるとともに、地域の人たちとのつながりを深め住みよい社会づくりをめざすことだと思います。しかし、近年曲り角にきたとか、魅力のない婦人会とかわれられておりますが、正直いって私たち自身も「すじ」が一本抜けている物足り

な、いらたしきも感じております。さて私たちの大枝婦人会を紹介させていただきます。前から実施している敬老会・成人式・運動会などへの協力と参加、高齢者や若

グループ紹介



大枝婦人会



生け花をやっているみなさん

い世代との対話集会の開催、寝たきり老人の訪問などのほか、今年度から生け花教室を開いています。この教室は四月から始めて現在四十名が参加しています。月二回菅原定子先生の熱心なご指導を受け、農繁期でも休むことなく和氣あいあいと続けております。花を生けている時の気分はすがすがしくて何ともいえないしつとりとした心になり大ききにいえば「女の幸せ」のようなものを感じます。ただ、この教室を開設するとき会場が問題になりました。地区民の唯一の集会場である西大枝集会所が季節保育所として使用しているため、私たちの活動の拠点がなくなりました。幸いにも農協大枝支所長さんのご厚意により支所の二階をお借りすることができたものの、この問題についてはどの団体でも対応しています。早急な増築などの対策を講じて

ていただきたいものです。

やがて秋の収穫も終わったら、生け花教室のほか読書会、料理や着付教室なども計画しております。そして潤いのある婦人会に一歩ずつ近づいて行きたいと思っております。最後になりましたが、温かいご支援をいただいている教育委員会、公民館、農協大枝支所などをはじめ地域のみなさまに紙上をお借りしまして厚くお礼申し上げます。

会長 小林テイス
(☎3261)



パート収入と税金

最近、パートタイムで働く主婦が多くなっていますが、年収が一定額を超えると、夫の所得から配偶者控除(二十六万円)が受け

られなくなったり、主婦自身に税金がかかったりします。○パート収入は通常給与所得になりますから、給与所得控除を差引いた額が二十万円以下であれば、配偶者控除が受けられます。つまり、年間のパート収入が七十万円以下の場合です。○パート収入が年間七十万円を超え、七十六万円以下の場合には、配偶者控除は受けられませんが、パート収入には所得税がかかりません。○パート収入が年間七十六万円を超えると、配偶者控除が受けられないうえに、主婦自身に所得税がかかります。



心配ごと相談日

場所：役場車庫二階
 時間：9時~12時

こまったことや心配ごとがありましたらお気軽にご相談下さい。秘密は絶対を守ります。

(相談員)

- 9月25日(土) 八島 福太郎
- 奥山 シマ
- 10月5日(火) 奥岩 健治
- 牧野 容子
- 10月15日(金) 小野寺 省二
- 斎藤 ちや子
- 10月25日(月) 遠藤 喜市
- 佐藤 マサイ

繰り返すまいこの悲しみ

事故ゼロへ誓いも新たに



発表する武田初江さん

交通安全ゼロへの願いをこめて第一回桑折町国見町交通安全町民大会が、さる九月四日午後二時から桑折町立醸芳小学校体育館において開催されました。

交通安全事故防止運動は、みなさんの協力のもとで町ぐるみで行ってきましたが、痛ましい事故が後を絶ちません。特に今年にはいつか五人が死亡するという悲惨な事故など、身近なところで起きています。

交通安全町民大会はこれらの現実を直視し、二度と悲しい事故を

繰り返さないために両町が協力して安全運動を展開していこうというものです。

この日はあいにくの雨模様でしたが、それでも小学生からお年寄りまで両町から六百人が参加、安全協会副支部長の開会のことばに続いて全員が立ち上がり交通安全事故犠牲者に対する黙とうをささげました。そして、大会会長である桑折町長、副会長の国見町長などのあいさつのおと表彰式に移り、

わが町からは、宇佐美兵藏さん、県北中学校、塚野目青年会、国見電子株式会社が交通安全の協力者として表彰されました。

さらに、県北中の武田初江さんが中学生の立場から、高校生保護者会会長の玉手昭市さんが親の立場から、明治学級・老人クラブ役員の松浦真さんが高齢者の立場からそれぞれ交通安全事故防止への提言を堂々と発表し、場内から盛んな拍手を浴びました。

そして、大会宣言を満場一致で決議し、事故ゼロへの誓いをあらたにしました。最後に県警察本部音楽隊や醸芳中学校ブラスバンドのアトラクションもあり、盛大のうちに第一回の幕が閉じられました。

なお第二回(来年度)は国見町で開催されることになっております。

無料人権相談所を開設

10月5日福祉センター

福島人権擁護委員協議会および福島地方事務局では、第十七回法の日週間における行事として、来たる十月五日(火)福祉センターにおいて無料特設相談所を開設します。

困りごと、もめごと、悩みごとをお持ちの方はお気軽に相談におでかけください。相談担当者は人権擁護委員と事務局の職員で、内容はすべて秘密にいたします。なお時間は午前十時から午後三時までとなっています。

人権擁護委員

- 佐藤 善二郎
- 佐久間 岩吉
- 佐久間 いち

役場の仕事でお困りの方

来たる十月十七日(日)から十月二十三日(土)までの一週間は「行政相談週間」です。

役場や公社、公団などの仕事について「困っている」「納得でき

消えていく 徳江の渡し舟

船頭さん

ご苦労様でした



船頭八巻与吉さんとクさん夫妻



この風景はもう見られない

江戸時代中期から続いてきた徳江の阿武隈川の渡し舟が八月いっぱい姿を消しました。徳江地区には、昔、徳江川岸といわれる舟つき場があり、交通の要衝として栄えました。ここから江戸に年貢米が運ばれており、川の兩岸には米倉が立ち並んだということです。

明治以後は徳江地区と梁川町粟野地区を結ぶ貴重な「足」として多くの人々に利用されてきました。しかし、時代の流れとともに利用者もめっきり減り、また、広域農道の建設から橋がかかると決まりさらに、渡し舟そのものも老朽化して危険な状態となったため、取り止めることになったものです。九月三日には最後の記念運航が行われました。かじを取るには、船頭の八巻与吉さん、トクさん夫妻です。渡し舟は静かに岸を離れ約二〇メートルの川幅をゆっくりと往復します。それを見守る地元の人たち、胸の奥にさまざまな感慨を抱きながら、渡しに最後の別れを告げていました。

る
え
ない
も
え

ごみは分けて出しましょう

ごみ収集については各戸ごとに日程表を配ってご協力をお願いしておりますが、一部の方が燃えるゴミの中に不燃物(缶やビン類)を入れて出しますので、焼却場で支障をきたしています。

現在、焼却場で処理されるごみ量は一日平均四五トンくらいですが、これに混入されている空缶、ビン類は二五〇〇個、ごみ一ト

あたり五〇〜六〇個ぐらいの不燃物が混ざっている計算です。このような状態では最新設備の焼却能率が落ちるのほもとより、空缶に含まれる亜鉛の量が排水放流水一立方メートルの福島県基準二PPmを上まわり、焼却場の運転を続けることができなくなりま

す。それで必ず次の事項を守って出してください。



毎日灰と一緒に出る缶の山

◎ごみは「燃えるもの」と「燃えないもの」に分けること

◎ごみはポリ袋に入れて収集日に出すこと

※破損していない酒・ビール飲料水などのビン類は、販売店の方に引き取ってもらうようにしましょう。

善意の窓

町社会福祉協議会へ

○みちのく民謡会(会長八島健一) 二万二千元

八月二十九日の段級審査受験者百十人から受験記念として
○町商工会(会長穂苅計三) 五千元

町商工会主催「中元大売出し」の抽選券で、(金賞五万円) 五本のうち一本が引取者が現れず、商業委員会にて、寄付することに決定

◎町農業青年会議所(会長佐野嘉代志さんほか三十一名) 九月一日早朝、公共施設にある樹木のアメリシロ防除作業を行いました。関係者から感謝されています。

カップル誕生

八月中に結婚した二人で、国見町に住んでいる人

氏名 部署(前住所)

松浦 茂雄 大木戸

西井留美子 三重県松阪市

ない)など苦情や意見をお持ちの方は、お気軽に行政相談委員会にお申し出ください。

行政相談委員会

藤田字北四〇

佐久間 岩吉

(1101101) (1101101)

吟詠教室

ただいま募集中

国見町吟詠会(会長斎藤惣次)ではたいま会員を募集しております。初心者でもベテランも、若い人もお年寄りもどなたでも大歓迎です。初心者には親切に手ほどきから始めます。毎月一回は専門講師(福島市・笠原天岳)の指導があり、教室は漢詩のほか短歌俳句類まで含まれます。

ご希望の方は次のところにぜひ一度おい出ください。くわしく説明いたします。

・場所 国見町福祉センター

・練習日 毎週月曜日

・会費 月額三百円

午後七時〜九時半

(社団法人日本詩吟学院釜原会所属)

国見町吟詠会

会長 斎藤 惣次

(1101101) (1101101)

